

環境目標と実績

東京エレクトロングループの環境に関する基本理念 / 環境方針をもとに、各事業所が自立的に環境保全のための目標を設定し、活動を行っています。

東京エレクトロングループは、環境保全の姿勢を明確にするため、1998年9月25日に < 基本理念 >、< 環境方針 > を制定しました。

この基本理念、環境方針をもとに、グループの各事業

所がそれぞれの環境方針、規程、要領書、手順などを制定し、環境保全活動を推進しています。

2001年度の実績と2002年度の目標は、下表の通りです。

環境目標と実績

	2001年度実績	2002年度目標
Eco Products (エコプロダクツ)	電力消費量の低減を目標とする装置の開発を行った	継続して検討および実施
	薬液および純水の消費量低減を目標とする装置の開発を行った	継続して検討および実施
	LCA(ライフサイクル・アセスメント)を用いて環境負荷の度合いを調査および分析した	LCAによる分析データを装置の開発にフィードバック
	グリーン調達方針の説明会実施およびお取引先様の評価を行った	評価点の低いお取引先様に対する指導および教育によりレベルアップを図る
Eco Factory (エコファクトリー)	電力消費量の削減に取り組んだ	各事業所ごとに目標を設定して消費量の削減を図る
	紙使用量の削減に取り組んだ	各事業所ごとに目標を設定して使用量の削減を図る
	水使用量の削減に取り組んだ	各事業所ごとに目標を設定して使用量の削減を図る
	廃棄物総量の削減に取り組んだ	各事業所ごとに目標を設定して廃棄量の削減を図る
	廃棄物リサイクル率の向上に取り組んだ	各事業所ごとに目標を設定してリサイクル率の向上を図る
	化学物質管理システムをさらに充実させた	継続して検討および実施
EHS Management (環境・健康・安全マネジメント)	『環境報告書2001』を発行した 情報開示に努めた	環境報告書の年1回発行および情報開示 環境報告書の内容充実
	事務所系従業員に対する環境教育を実施した 事務所系事業所における環境マネジメントシステム導入の準備を行った	ISO14001に準拠した環境マネジメントシステム、 TEL Eco Activity を事務所系事業所に導入
	環境会計による環境保全コストを集計把握した 環境会計における環境保全効果(経済効果)の集計把握を試みた	正式に効果の把握の開始 環境会計の内容充実および精度の向上
	安全教育の更新および継続的実施を行った	継続して更新および実施



代表取締役社長
東 哲郎

社長コメント

お客様に納入した半導体製造装置は、装置を使ってお客様が半導体を作る時に電力をはじめ大きな環境負荷が生じます。東京エレクトロングループは、装置使用時の環境負荷低減を環境目標の中心的課題として、装置ごとにLCA(ライフサイクル・アセスメント)を行っており、この分析結果を生かして開発・設計に反映させていきます。

また、今後もこれを推進するために、お客様との情報交換などの協力体制をいっそう強力なものにしたいと思います。

社内については、環境と安全両方のマネジメント体制が整ってきました。これを基盤としてグループ全体のリサイクル、省資源、省エネルギー、化学物質の管理をバランス良く推進することが2002年度の課題です。